

令和3年度〈期日〉令和3年11月18日（木）〈会場〉邑楽町中央公民館 東毛地区社会教育関係職員等研修講座

東毛地区の生涯学習・社会教育の推進を図るため、社会教育行政に携わる職員及び学校職員を対象に、社会教育行政職員等に求められる基本的・実践的な知識及び技術の習得を目指し、資質の向上を図ることをねらいとし、「東毛地区社会教育関係職員等研修講座」を開催しました。第1部が講演、第2部は参加者同士の情報交換を実施しました。当日は、50名の方に御参加いただき、有意義な研修講座となりました。

講演

講師：川口一美氏

聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科 教授

「コロナ禍における生涯学習のあり方」 ～現状と今後の可能性について～

講師の川口先生からは、コロナ禍の現状とそれ以前の自分の状況をエコマップに書いて、自分の生活を見つめてみる事が大切。そして、自分自身が社会資源（地域の財産）であることを意識して、社会関係資本を生かしてネットワークをつくり、様々な人々と地域や活動をつないで、地域課題を解決して欲しいというお話がありました。



情報交換

「コロナ禍における社会教育施設の取組」

後半の「情報交換」では、3,4名のグループでテーマや日頃の業務について、熱心に話し合っていました。コロナ禍により久しぶりの交流で大いに盛り上がりたことができ、充実した意見交流の場となりました。



「情報交換で、盛り上がる参加者」

◇参加者の声◇ アンケートより

- コロナ禍でもいろいろ取り組めることもあるのだと思いました。学びを止めないようがんばりたいです。
- エコマップをつくってみて、自分が地域との関わりの薄いことを改めて実感しました。
- 入職してから、コロナの影響により研修の機会や他市町村の方との交流が少なく、社会教育についての知識を広げられなかったが、今日の実りある研修のおかげで、実践に生かせる知識の習得ができた。
- 社会資源への気付き及びコーディネートしてネットワークをつくることの意義を認識できた。
- 社会関係資本の重要性、大切さを再確認できた。
- 学校職員など他分野の方と交流ができ有意義でした。
- 情報交換は、他の公民館の取組が聞けてよかった。

〈主催〉群馬県教育委員会 〈主管〉東部教育事務所